

BMW2000 tilux ~ BMW2000 tilux ~



BMW 2000 シリーズの中で最上級車で1966年から1972年まで生産されその後5シリーズに引き継がれた。第二次世界大戦後501などの大型車とオートバイそしてイタリア、イソ社のライセンス生産のキャビンスクーしか生産されていなかったため戦後から回復した流れに乗れず経営危機に陥りイタリアのデザイナー、ジヨバンニ・ミケッロツティがデザインしBMW オートバイ用空冷水平対向2気筒エンジンをリアに積んだ小型 2ドアセダンを発売、直線を多様したデザインとその高性能ぶりで人気を得た。その後経済も安定し中型セダンの需要が高まりノイエクラッセ(ニュークラスの意)としてミケッロツティにデザインを依頼、写真の車の原型となったBMW 1500を発売、BMW 伝統のキドニー(腎臓)グリルが復活しその伝統は現在も生きている。それは日本人にはむしろきちんとそろえられた二足のわらじを連想させる。1500が大ヒットして今日のBMWの礎を築いたといっても過言ではない。当時としては非常に性能、走行バランスがよく好き者は早速草レースに参戦し良い成績を収めた。スポーツセダンと言う言葉が生まれた。すぐに1600cc、1800cc、2000ccとエンジンをスケールアップしさらに2連式のソレックスキャブレター2基がけして各シリンダーに独立して燃料供給してパワーは120馬力まで引き上げられターボリングインターナショナルとアランドル化シラックスな内装を施したデラックス版をEUXとした。今日では当たり前になっているパワーステアリングなどがなかったため細めのタイヤにもかかわらずハンドル操作は停車時はかなり重くかなりの腕力を必要としパワーアシストと言っていた記憶がある。普通の女の人では体重をかけても無理かもしれない。当時は車はまだ男の乗り物であった。

(文・吉田章二)